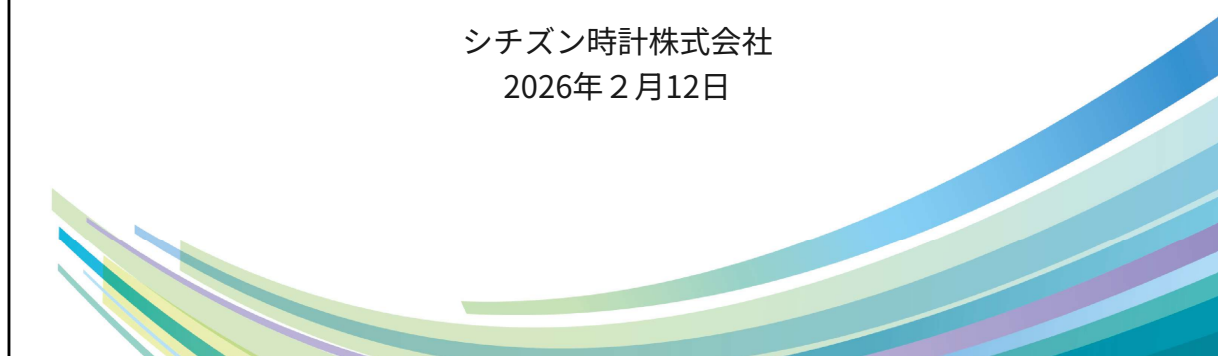


2025年度（2026年3月期） 第3四半期決算説明会

シチズン時計株式会社
2026年2月12日



第3四半期累計（4-12月）業績概要	連結業績概要 5
	セグメント別業績概要 6
第3四半期（10-12月）業績概要	連結業績概要 8
	セグメント別業績概要 9
	時計事業 10
	工作機械事業 15
	デバイス事業 17
通期業績予想	連結業績予想 19
	セグメント別業績予想 20

広報IR担当の小林です。

2025年度第3四半期の業績の概要を説明いたします。

2025年度第3四半期 業績概要

【10-12月】 増収増益

【4-12月 累計】 増収増益

- 時計事業 北米を中心に“シチズン”と“ブローバ”ブランドの好調が継続
北米の主要流通の売上高の増加と自社ECの伸長などが寄与し、大幅増益
- 工作機械事業 自動車関連は勢いを欠くも医療関連や半導体関連が堅調。
海外市場の売上高の増加などにより、増益

2025年度通期業績予想 上方修正

■ 売上高	3,270億円 ⇒ 3,375億円 (+105億円)
■ 営業利益	245億円 ⇒ 270億円 (+25億円)
■ 経常利益	290億円 ⇒ 335億円 (+45億円)
■ 親会社株主に 帰属する当期純利益	220億円 ⇒ 240億円 (+20億円)

※ 第4四半期の想定為替レート
1USD 145円 ⇒ 150円
1EUR 170円 ⇒ 180円

3


こちらが今回の決算発表のポイントとなります。

第3四半期の3カ月間および累計期間ともに、連結業績は増収増益となりました。

また、通期業績予想につきましては、主に第3四半期累計の業績の上振れを反映して上方修正いたします。

第4四半期については想定為替レートの変更を行い業績予想に反映しております。

2025年度第3四半期累計（4-12月期）業績概要



それでは、まず、第3四半期累計期間の連結業績についてご説明いたします。

第3四半期（4-12月）増収増益

(単位：億円)	2024年度	2025年度	前年同期比	
	9カ月累計実績	9カ月累計実績	増減額	増減率
売上高	2,417	2,571	+153	+6.4%
営業利益	190	238	+48	+25.5%
営業利益率	7.9%	9.3%	-	-
経常利益	219	303	+84	+38.2%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	222	222	+0	+0.1%
為替レート	¥152/USD	¥148/USD		
	¥165/EUR	¥171/EUR		

5

第3四半期累計期間の連結業績の概要です。

売上高は、時計事業と工作機械事業が好調に推移し、2,571億円、前年比6.4%の増収となりました。

営業利益は、時計事業と工作機械事業の収益性改善が進んだことで、238億円、前年比25.5%の増益となりました。営業利益率は9.3%となりました。

経常利益は、為替差益の増加などにより、303億円と前年比38.2%増となりました。

親会社株主に帰属する四半期純利益は、222億円と、前年並みとなりました。

2025年度第3四半期累計（4-12月）セグメント別業績概要

CITIZEN

（単位：億円 / %：営業利益率）

売上高	2024年度	2025年度	前年同期比		セグメント	業績
	9カ月累計実績	9カ月累計実績	増減額	増減率		
時計事業	1,375	1,475	+100	+7.3%	■ 時計事業	【増収増益】
工作機械事業	559	622	+62	+11.2%	■ 工作機械事業	【増収増益】
デバイス事業	482	472	▲9	▲2.0%	■ デバイス事業	【減収減益】
合計	2,417	2,571	+153	+6.4%		
営業利益						
時計事業	160 (11.7%)	207 (14.0%)	+46	+29.2%		
工作機械事業	43 (7.9%)	51 (8.4%)	+8	+18.2%		
デバイス事業	31 (6.5%)	25 (5.4%)	▲5	▲18.8%		
消去又は全社	▲45	▲45	+0	-		
合計	190 (7.9%)	238 (9.3%)	+48	+25.5%		

6


事業セグメント別の業績です。

経済情勢など先行きが不透明な状況が続いている中、時計事業は、売上高は1,475億円、前年比7.3%の増収、営業利益は207億円、前年比29.2%の増益、営業利益率は14.0%となりました。

工作機械事業は、海外市場が増収となり、売上高622億円、前年比11.2%の増収、営業利益は51億円、前年比18.2%の増益となりました。

デバイス事業は前年同期にまとまった納品があったフォトプリンターの反動減を受け、減収減益となっております。

2025年度第3四半期（10-12月期）業績概要



続いて、第3四半期、3カ月間の連結業績についてご説明いたします。

第3四半期（10-12月） 増収増益

(単位：億円)	2024年度	2025年度	前年同期比	
	3Q(10-12月)実績	3Q(10-12月)実績	増減額	増減率
売上高	851	978	+126	+14.9%
営業利益	67	108	+41	+62.5%
営業利益率	7.9%	11.1%	-	-
経常利益	97	141	+44	+46.0%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	99	103	+4	+4.2%
為替レート	¥150/USD ¥162/EUR	¥153/USD ¥178/EUR		

8

売上高は、時計、工作機械、デバイスの全事業セグメントが増収となり、978億円、前年比14.9%の増収となりました。

営業利益は、各セグメントにおいて収益性の改善が進んだことで、108億円、前年比62.5%の増益となりました。営業利益率は11.1%となりました。

経常利益は、増収による押し上げ効果などもあり、141億円と前年比46.0%増となりました。

親会社株主に帰属する四半期純利益は、103億円と、前年比4.2%増となりました。

2025年度第3四半期（10-12月）セグメント別業績概要

CITIZEN

（単位：億円 / %：営業利益率）

		2024年度	2025年度	前年同期比			
売上高	3Q(10-12月)実績	3Q(10-12月)実績	増減額	増減率	セグメント	業績	
■ 時計事業	517	582	+ 64	+12.5%	■ 時計事業	【増収増益】	
■ 工作機械事業	185	237	+ 51	+27.8%	■ 工作機械事業	【増収増益】	
■ デバイス事業	148	159	+ 10	+7.1%	■ デバイス事業	【増収増益】	
合計	851	978	+126	+14.9%			
営業利益							
■ 時計事業	63 (12.3%)	89 (15.4%)	+ 25	+40.2%			
■ 工作機械事業	13 (7.4%)	25 (10.7%)	+ 11	+84.2%			
■ デバイス事業	3 (2.3%)	9 (5.8%)	+ 5	+166.1%			
消去又は全社	▲ 13	▲ 15	▲ 1	-			
合計	67 (7.9%)	108 (11.1%)	+ 41	+62.5%			

9

次に事業セグメント別の業績です。

時計事業は、売上高は582億円、前年比12.5%の増収、営業利益は89億円、前年比40.2%の増益、営業利益率は15.4%となりました。

工作機械事業は、売上高237億円、前年比27.8%の増収、営業利益は25億円、前年比84.2%の増益となりました。

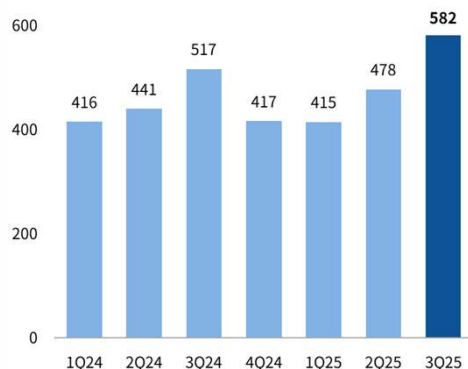
デバイス事業は、売上高159億円、前年比7.1%の増収、営業利益は9億円、前年比166.1%の増益となりました。

第3四半期の3ヵ月間では、全ての事業セグメントが増収増益となりました。

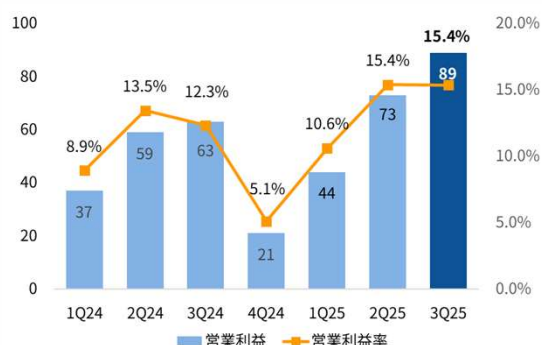
第3四半期（10-12月） 増収増益

- 完成品(シチズン) 国内市場は、内需は前年並みを維持するもインバウンド需要が減少し、減収
海外市場は、その他アジア地域が低調な一方、欧米が好調に推移し、増収
- 完成品(ブローバ) 主力の北米において、各流通でブランド創業150周年の販売施策が奏功し、増収
- ムーブメント アナログクォーツムーブメントが堅調かつ、機械式ムーブメントも好調に推移し、増収

売上高 (億円)



営業利益 (億円)・営業利益率



10

それでは、時計事業の概況をご説明いたします。

売上高は582億円、12.5%の増収、営業利益は89億円、40.2%の増益となりました。

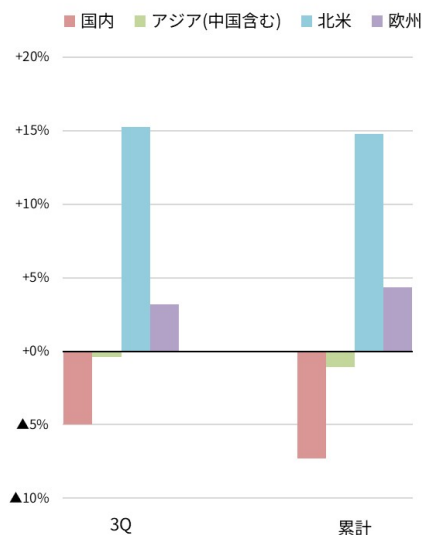
完成品販売のうち、シチズンブランドにつきまして、国内市場は、内需は前年並みを維持しましたが、インバウンド需要が減少した影響を受け、減収となりました。

一方、海外市場は、グローバルサブブランドの貢献などもあり欧米が好調に推移したほか、アジアも全体的な市況は依然として低調ながらも、一部市場の販売が増え、増収となりました。

ブローバブランドは、ブランド創業150周年関連の販売施策が功を奏し、北米の主要流通である百貨店やジュエリーチェーン流通に加え、自社ECも好調が継続し、増収となりました。

ムーブメントは、アナログクォーツムーブメントが堅調に推移したほか、機械式ムーブメントの好調も継続し、増収となりました。

前年同期比増減率 (現地通貨ベース)



※ 北米のみシチズンブランドとブローバブランドを合算した増減率
その他の地域はシチズンブランドのみの増減率

地域別販売状況 (10-12月)

地域	前年 同期比	詳細
国内	【減収】	『カンパノラ』などのプレミアムブランドが堅調に推移し、メンズブランドの『アテッサ』は前年並みを維持。インバウンド需要が減少。
アジア (中国含む)	【減収】	タイやインドなどで機械式時計が堅調に推移したほか、中国が販売増。その他アジア地域が低調。
北米	【増収】	シチズンブランド、ブローバブランド共に百貨店や時計専門店などの主力流通が好調に推移。自社ECでは『アテッサ』の高価格帯モデルなどが伸長し、販売拡大が継続。
欧州	【増収】	『プロマスター』などの新製品が売上に貢献したほか、機械式時計の人気も根強く堅調に推移。

11

こちらは、現地通貨ベースの地域別売上高の伸び率です。

赤色の国内は、『カンパノラ』などのプレミアムブランドが堅調に推移し、メンズブランドの『アテッサ』は前年並みを維持しましたが、インバウンド需要が減少したことにより、減収となりました。

緑色のアジアは、タイやインドにおいて、機械式時計などが堅調に推移したほか、中国での販売が増えましたが、その他のアジア地域が低調となり、減収となりました。

青色の北米は、シチズンブランド、ブローバブランド共に、百貨店や時計専門店向けの販売が好調に推移したほか、自社ECでは『アテッサ』などの高価格帯モデルが伸長するなど販売拡大が継続し、増収となりました。

紫色の欧州は、グローバルサブブランドである『プロマスター』の販売が堅調に推移したほか、機械式時計の販売が好調を維持するなど、増収となりました。

『ブローバ』 ラテングラミーとのスポンサー契約更新

- ブローバは2016年よりラテングラミーのスポンサーとなり、2025年10月に10年目のスポンサー契約を更新
- 音楽を通して潜在需要顧客へのアプローチを行い、SNSによる拡散もありブランド認知度向上と販売に寄与

150
BULOVA

2025年11月に開催されたラテングラミー授賞式にてブローバブランドを訴求

12

続きまして、時計事業のトピックスです。

まず、当社の中価格帯時計の柱の1つとして、今期好調が続いているブローバです。

ブローバは、2016年よりラテングラミーのスポンサーとなり、2025年10月に10年目のスポンサー契約を更新しました。

ラテングラミーは、アメリカ国内外の優れたラテン音楽を対象とした最高権威の音楽賞であり、毎年11月に開催される授賞式は世界80か国以上に放送されています。

スポンサーとなることで、音楽を通じた潜在需要顧客へのアプローチや、インフルエンサーによる拡散効果もあり、ブランド認知度の向上や販売拡大に貢献しております。

ブローバは、ヒスパニックのお客様に強く、こうした取り組みを通して、高いシェアを持つアメリカに加えて、中南米においてもブランドイメージの向上を図り、「米州市場」でのシェア拡大を進めてまいります。

■ 傘下のラ・ジュール・ペレ社（スイス）がLVMHグループの出資を受け入れ

- ラ・ジュール・ペレ社は、2022年よりLVMHグループが保有するブランド（TAG Heuer、Tiffany & Co.）に高精度ソーラークォーツムーブメントを提供
- 2025年11月、LVMHグループが保有する他の時計ブランドとの連携を含めた関係強化を進めていくことを見据え、LVMHグループの出資を受け入れた
- この戦略的提携により、両グループ間の発展と長期的な関係を強化

LVMH  Manufacture
LA JOUX-PERRET

■ ラ・ジュール・ペレ社について

ラ・ショー・ド・フォンに拠点を置き、約140人の従業員を擁するラ・ジュール・ペレ社は、高品質ムーブメントの設計と製造を専門とするスイスのムーブメントメーカー。自動巻き、複雑機構、高精度のソーラークォーツムーブメントの開発において豊富な経験を持ち、名高い時計ブランドに供給。伝統と革新を融合させ、開発からムーブメントの製造と装飾、最終組立まで、全ての工程を自社で管理。

2012年にシチズングループの傘下に入り、事業の安定性と国際的な展開を享受しつつ、スイスのアイデンティティと創造的独立性を維持。

13

続いて、シチズングループの傘下であるラ・ジュール・ペレ社についてのトピックスとなります。

既に発表済みではありますが、スイスのラ・ショー・ド・フォンを拠点とするラ・ジュール・ペレ社は、2025年11月にLVMHグループの出資を受け入れることとなりました。

ラ・ジュール・ペレ社は、2022年よりLVMHグループが保有するブランドであるタグホイヤー、ティファニーに高精度ソーラークォーツムーブメントを提供しており、今回の戦略的提携により、LVMHグループが保有する他の時計ブランドとの連携を含め、両グループ間の発展と長期的な関係を強化してまいります。

『カンパノラ』25周年記念限定モデル発売

- ブランド誕生25周年を記念し、新製品『星響（ほしのひびき）』を数量限定で発売
- ブランドで初となるデュラテクトDLCを施した漆黒の宇宙のようなオールブラックのケースとバンドに星の輝きを象徴するゴールドカラーが映える限定仕様



発売日 : 2025年11月13日、2025年12月4日
価 格 : 希望小売価格 451,000円～1,320,000円(税込)
モデル : 3モデル
限定数量 : 世界限定150～250本

14

最後に、当社のプレミアムブランドの一つである『カンパノラ』です。

「雄大な宙（そら）に想いを馳せ、今という時を愉しむ」をテーマに掲げているプレミアムブランドの1つである『カンパノラ』は、2025年に誕生25周年を迎えました。

この周年を記念し、ラ・ジュール・ペレ社の機械式ムーブメントを搭載した商品を含む、限定3モデルを11月と12月に発売いたしました。

ブランドで初となるデュラテクトDLCをほどこした漆黒の宇宙のようなオールブラックのケースとバンドに、星の輝きを象徴するゴールドカラーが映える限定仕様となっております。

デビューしてから25年、先端技術や匠の技を活かした独創的なモデルで、コアなファンにご愛顧いただいておりますが、さらに顧客層を広げるため今後も拡販に取り組んでまいります。

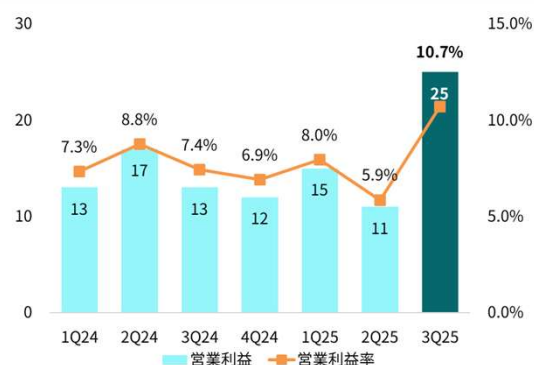
第3四半期（10-12月） 増収増益

- 国内市場 自動車関連の低迷は継続するも、市況は底打ち感がみられ、前年並み
- 海外市場 米州は医療関連が堅調さを保つも設備投資への様子見姿勢が継続。欧州は医療関連とジョブショップ向けが堅調。アジアは中国において半導体関連の需要が高まり、海外市場全体で増収

売上高 (億円)



営業利益 (億円)・営業利益率



15

続いて工作機械事業です。

売上高は237億円、27.8%の増収、営業利益は25億円、84.2%の増益となりました。

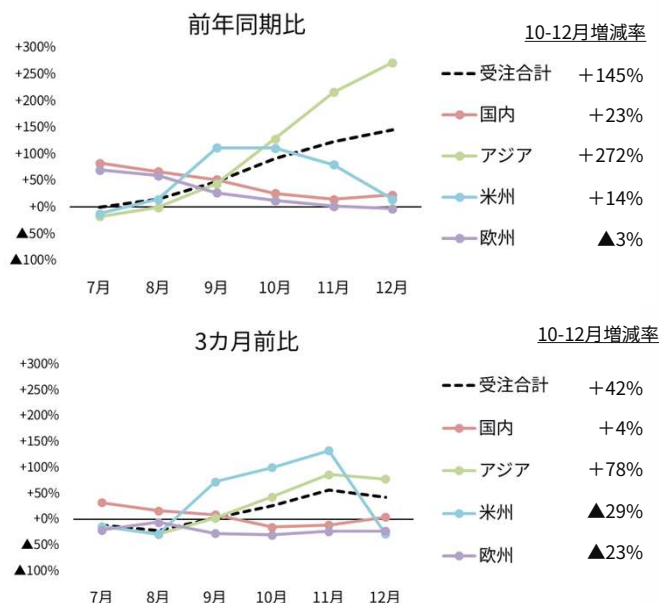
国内は、自動車関連の低迷が継続していますが、市況に底打ち感は見られるなど、前年並みとなりました。

海外につきましては、米州は医療関連の販売は堅調に推移しましたが、設備投資への様子見姿勢が継続しております。

一方で、欧州は医療関連やジョブショップ向けの販売が堅調に推移したほか、アジアは中国において半導体関連の需要が高まるなど販売が増え、海外市場全体で、増収となりました。

営業利益につきましては、増収による押し上げにより、増益となっております。

受注台数（3カ月移動平均）増減率の推移



地域別受注状況（10-12月）

地域	詳細
国内	自動車関連は底打ち感はあるものの先行き不透明感により軟調。半導体関連の受注が増加。
アジア (中国含む)	中国はプローブなど半導体関連の需要増を受け好調。その他アジアも米国関税影響などによる慎重姿勢が和らぎ受注増。
米州	9月の値上げ前の駆け込み需要の反動減あり。医療関連が堅調さを保ち、前年比では増加。
欧州	自動車関連の低迷が継続。ドイツなどを中心に新規の設備投資に消極的。

16

こちらは、地域別の受注状況です。折れ線グラフは、受注台数の3カ月移動平均の前年同期比と3カ月前比の増減率の推移です。

スライドの右側は、第3四半期の受注の状況です。地域別にみると、

国内は、自動車関連が軟調ではあるものの、半導体関連の受注が増加しております。

アジアでは、中国において半導体関連の需要が高まっていることに加え、その他のアジアにおいても米国関税の影響などによる設備投資への慎重な姿勢が和らぎ、大幅に受注が増えました。

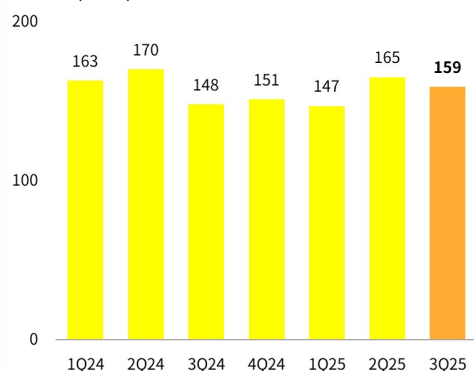
米州は、9月の値上げ前の駆け込み需要の反動減がありましたが、医療関連が堅調を保つなど、前年を上回りました。

欧州は、自動車関連の低迷が継続しているほか、ドイツなどを中心に設備投資に消極的な姿勢が続いております。

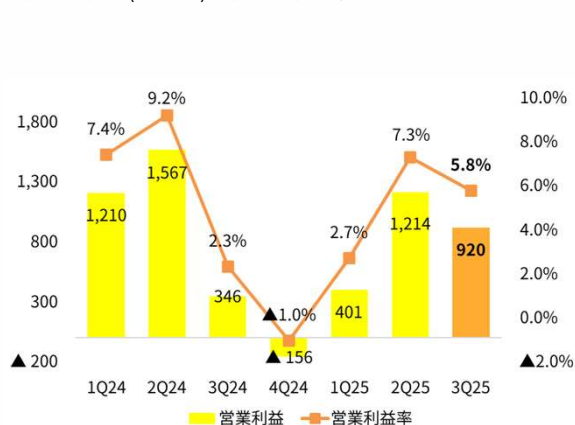
第3四半期（10-12月） 増収増益

- 自動車部品 市場の回復は限定的ながらも、国内と中国の販売が底堅く推移し、増収
- 小型モーター 顧客の在庫調整が一巡するなど緩やかながらも復調し、前年並み
- セラミックス 光通信向けなどのサブマウント製品が堅調に推移し、増収
- プリンター フォトプリンターが安定した需要を背景に販売を伸ばし、増収

売上高 (億円)



営業利益 (百万円)・営業利益率



17

最後に、デバイス事業です。

売上高は159億円、7.1%の増収、営業利益は9億円、166.1%の増益となりました。

自動車部品は、市場の回復は限定的でしたが、国内と中国の販売は底堅く推移し、増収となりました。

小型モーターは、顧客の在庫調整が一巡するなど緩やかながらも復調し、前年並みとなりました。

セラミックスは、光通信向けなどのサブマウント製品が堅調に推移し、増収となりました。

プリンターは、フォトプリンターが安定した需要を背景に販売を伸ばし、増収となりました。

2025年度通期業績予想

最後に、2025年度下期及び通期業績予想についてご説明いたします。

2025年度 通期連結業績予想

(単位：億円)	2025年度 11/12予想		2025年度 2/12予想		増減額		増減率	
	下期	通期	下期	通期	下期	通期	下期	通期
売上高	1,677	3,270	1,782	3,375	+105	+105	+6.3%	+3.2%
営業利益	115	245	140	270	+25	+25	+22.0%	+10.2%
営業利益率	6.9%	7.5%	7.9%	8.0%	-	-	-	-
経常利益	128	290	173	335	+45	+45	+35.2%	+15.5%
親会社株主に帰属する 当期純利益	101	220	121	240	+20	+20	+19.8%	+9.1%
為替レート	¥145/USD	¥146/USD	¥151/USD	¥149/USD				
	¥170/EUR	¥168/EUR	¥179/EUR	¥173/EUR				

通期の連結業績予想でございますが、主に第3四半期累計の業績の上振れを反映して上方修正いたします。

第4四半期については、想定為替レートの変更を行い業績予想に反映しております。

売上高は105億円増の3,375億円、営業利益は25億円増の270億円、経常利益は45億円増の335億円、親会社株主に帰属する当期純利益は、20億円増の240億円と、それぞれ上方修正しております。

2025年度 通期連結業績予想 セグメント別業績推移

CITIZEN

(単位：億円 / %：営業利益率)

売上高	2025年度 11/12予想		2025年度 2/12予想		増減額		増減率	
	下期	通期	下期	通期	下期	通期	下期	通期
時計事業	966	1,860	1,006	1,900	+40	+40	+4.1%	+2.2%
工作機械事業	404	790	454	840	+50	+50	+12.4%	+6.3%
デバイス事業	306	620	321	635	+15	+15	+4.9%	+2.4%
合計	1,677	3,270	1,782	3,375	+105	+105	+6.3%	+3.2%
営業利益								
時計事業	102 (10.6%)	220 (11.8%)	112 (11.2%)	230 (12.1%)	+10	+10	+9.8%	+4.5%
工作機械事業	37 (9.2%)	64 (8.1%)	48 (10.6%)	75 (8.9%)	+11	+11	+29.4%	+17.2%
デバイス事業	7 (2.6%)	24 (3.9%)	13 (4.3%)	30 (4.7%)	+6	+6	+76.5%	+25.0%
消去又は全社	▲32	▲63	▲34	▲65	▲2	▲2	-	-
合計	115 (6.9%)	245 (7.5%)	140 (7.9%)	270 (8.0%)	+25	+25	+22.0%	+10.2%

*2025年度より電子機器他事業は「デバイス事業」に集約。

2024年度実績はデバイス事業と電子機器他事業を統合し「デバイス事業」として表記。時計事業についても一部変更あり。

20

下期の業績予想につきまして、全事業セグメントにおいて、売上高、営業利益ともに上方修正いたします。



以上となります。